

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人 権 ・ 労 働	1	☐ 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	☐ 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・研修の実施、相談窓口を設置している。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済。 ※ライフワークバランスコース					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	☐ 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・社員の労働時間の管理を徹底し、労務担当者が個別で声掛けや事業部ごとで業務の調整を行っている。 ・テレワーク実施時にも勤怠管理をクラウド化することで時間外労働管理を徹底している。 ・36協定を締結し、事業部責任者には定期的な研修を行い、社内の労働時間の把握と管理を行っている。 ・時短勤務を導入し、多様な働き方改革を許容する勤務体制を整備している。								8.5 8.8									
	4	☐ 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・人材募集の際、外国人からの応募に対しても積極的に面接を行っている。現段階ではまだ採用にはなっていない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	☐ 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員の健康維持のため、健康診断を年1回実施している。 また、感染症対策で社内でのマスク配布、簡易検査キットの常備、アルコール消毒の設置や、空気清浄機、加湿器など、社内の環境を整える取組を行っている。			3					8									
	6	☐ 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・やむを得ず生じる長時間労働がある社員に対して労務担当者が状況確認など行う。 ・業務以外の内容も含めた個人面談を定期的に行っている。			3														
	7	☐ 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる職場環境を整備することを目指し、長野県の「社員の子育て応援宣言」また、厚生労働省の「両立支援のひろば」に登録している。 ・30代の女性社員が多く、育児休業職場復帰率は100%となっている。 ・未就学児童を持つ親については、時短勤務制度を導入、2023年度からは、就学を迎えた子を持つ親については、時差勤務制度を導入、実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	☐ 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・社員が必要とするセミナーや勉強会へ参加を会社としてサポートし、後日参加者による社内情報共有を行っている。				4	5.5			8	9								
	9	☐ 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム従業員に関しても賞与の支給、昇給など、正社員と同様の制度を遵守している。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	☐ 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・年に一度健康診断を実施している。 ・体調がすぐれない社員がいた場合は即座に事業部内で作業分担を図り、早退や休暇を取らせるなど徹底している。			3					8									
	11	☐ 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・リサイクル可能な資源物を分別したり、再利用可能と思われるものは専門業者へ持ちこみ、できるだけゴミの減量化を進めている。また、13名の事業所(本社)では1週間の可燃ごみの量を45Lの袋1枚と目安を決め、範囲内におさめる努力をしている。											11.6	12.4		14.1			
	12	☐ 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・毎月自社の電気使用量、社用車の走行距離を周知している。 ・2022年9月に開所した弊社の新事業である通所型介護施設においては、太陽光・蓄電池システムを導入し、リアルタイムで使用電力が確認できるようになっている。							7.3						13				

	カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
18		☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・現状取得予定なし			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境に対する取り組みを自社サイトで公開している。												12.6					
20		☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・介護施設では、太陽光発電で蓄電したクリーンなエネルギーを使用し、持続可能なエネルギー利用を推進している。							7.2						13				
21		☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・グリーン調達を優先的に実施している。												12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則にてけん責処分 の事項として定め、周知している。																16 16.5	
23		☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・コンプラ勉強会を行い、健全で公正な取引が行われるよう、周知、徹底している。																16	
24		☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・パートナー企業、お取引先様と機密保持契約書を締結することにより、知的財産権保護を謳い、保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
25		☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報管理責任者より社員への教育を積極的に行っている。 ・取引先が行うセキュリティ研修にも積極的に参加している。																16	
26		☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・鉱物の取り扱いを行っていない。																16	
27		☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・契約を締結し、内容に沿った取り組みを実施している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製 品 ・ サ ー ビ ス	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・社内開発において、品質管理手順を構築し、品質検査を複数名で実施した上で納品を行っている。			3.9									12.4					
29		☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・部署ごとや社内全体で品質評価を実施している。 ・顧客からのクレームが発生した場合など、不良報告をまとめ、社内で共有し再発防止に努めている。									9								
30		☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・介護施設における利用者管理を電子化しペーパーレスとする利用者管理システムの開発を行った。 (長野県内外の同サービスを提供する事業者へ導入した)						6						12	13	14	15		
31		☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・自然災害が頻発する昨今において、災害時に自治体が住民に対し、情報を各メディアに発信できるシステムを開発し、普及に取り組んでいる。 ・自社及びグループ会社で運営する通所介護施設において、職員の負担軽減や利用者のサービス向上、環境に配慮しペーパーレス化も兼ね備えた管理システムを自社開発し導入している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□ 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・（一財）マルチメディア振興センター主催のe-ネットキャラバンに協力企業として参加し、地域の小学校などで生徒や保護者へ向けたインターネットの安心・安全利用の啓発のセミナーを行っている。																	
33		□ 【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・ 寄付金が子ども関連団体への人的支援等に活用される、（一社）信州アルプス大学が主催している、信州1%プロジェクトに参加している。				4							11	12		14	15		17
34		□ 【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・ 社内での機器や消耗品購入の際は、市内または県内での購入を心掛けている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□ 【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・ 経営理念や経営目標は全社員に明確に共有、自社のWebサイトにも公開している。 ・ 年度ごと目標を立て、定期的に社内会議、個人面談等を行っている。								8	9								17
36		□ 【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ 就業規則にて定めがあり、全社員に周知している。また、担当者が各事業部の責任者に対し、コンプライアンス研修をしている。																16	
37		□ 【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・ 責任者を任命している。																16	
38		□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ ステークホルダーに及ぼす影響を把握及び予測し、都度対策を検討し対応している。																16	17
39		□ 【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ 情報セキュリティに対しガイドラインを定めている ・ サイバーセキュリティに関する損害保険に加入 ・ 事業継続力強化計画を申請予定																16	
40		□ 【社会的責任】 ・ C S R（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針の策定、自社のWebサイトにて公開している																16	
41		□ 【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・ 事業継続力強化計画を申請予定									9		11		13 13.1			16	
42		□ 【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・ 継続的な人材採用、教育・育成を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
